

## 第38回(2022年度) 櫻井健二郎氏記念賞受賞者及び受賞理由

### ■受賞者■

安達 千波矢(あだち ちはや)

九州大学 工学研究院応用化学部門 主幹教授

同 最先端有機光エレクトロニクス研究センター センター長

### ■受賞題目■

「高効率有機発光材料の創製と光デバイスへの応用」

### ■受賞理由■

安達千波矢氏は、大型テレビなどに用いられている有機発光ダイオード(OLED)の研究開発に黎明期から携わり、電子輸送層を有するダブルヘテロ構造をいち早く提案するとともに、発光層に従来の蛍光材料に替えて燐光材料を用いれば内部量子効率がほぼ100%となることを実証した。また、分子設計の自由度が大きく、レアメタル・フリーな熱活性化遅延蛍光材料を創製し、ほぼ100%の内部量子効率のOLEDを実現した。さらに、色純度を上げて色域を広げた OLED の開発や有機半導体レーザーへの挑戦にも意欲的に取り組んできている。

このように、安達氏は、有機分子の発光についての深い知見と洞察に基づき、高効率な有機発光材料を創製することにより、OLEDの学術的基盤の構築に貢献するとともに、その実用化に向けた研究開発を主導し、我が国の光産業とりわけディスプレイ分野の発展に貢献しており、本賞に相応しい業績と考える。